
2008年度「メセナ活動実態調査」添付資料
「芸術分野と他分野の複合型メセナ」取り組み例（抜粋）

今年度の実態調査では時事設問として、芸術分野と他分野の「複合型メセナ」の実施について尋ねました。その結果、メセナ実施企業460社のうち183社(39.8%)が行ったと回答。これまで企業がメセナや社会貢献活動に取り組んできた経験から、領域横断的な発想で実現した活動が多くみられました。

芸術文化 × **青少年教育**

「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」(トヨタ自動車[株])

“子どもがアーティストとの出会いを通じて、多様な価値観や豊かな感性を育む”ことを目的に、「芸術家と子どもたち」などのアートNPOや各地の実行委員会と連携して展開しているプログラム。アーティストが空き教室(余裕教室)を一時的にアトリエにして長期間滞在し、子どもたちと交流するなど、地域の実情に即した活動を実施。

「CAMP(Children's Art Museum & Park)」([株]CSKホールディングス)

小・中学生を対象として、創作体験ワークショップを開発・実践・普及。参加する子どもたちが自分にあった表現手段を見つけ、創造性とコミュニケーション力を自ら高めていくことを支援している。国内外のアーティストや研究者等と連携してワークショップを開発し、それをパッケージ化して全国のミュージアムや教育機関へ無償提供。

芸術文化 × **まちづくり・地域活性化**

「花王・コミュニティミュージアム・プログラム」(花王[株])

全国各地のミュージアム(美術館・博物館など)を拠点とする市民活動を支援・育成する公募助成プログラム。活動自体の助成に加え、育成という視点から団体相互の交流についても助成を行う。ミュージアムが活気に満ち、市民の活動が育つとともに、地域の文化が発展していくことを期待して実施。

「しずおか夢デザインコンテスト」(しずおか信用金庫)

地域の小学生から、あったらいいなと思う地場製品のアイデアをデザイン画で募集。入賞作は、実際に地元の職人(技術者)が実用レベルの試作品を製作し、受賞者にプレゼントするとともに、商品化の可能性も探る。

芸術文化 × **福祉・医療**

「エイブルアート・オンステージ」(明治安田生命保険[相])

障がいのある人たちと、新しい表現に挑戦しているアーティストとのコラボレーションにより、これまでにない表現や作品をつくる舞台芸術プロジェクト(公募助成、成果発表公演、ワークショップ等)。障がい者の舞台活動を支援するという側面に加え、作品のクオリティを高めることにも大きな比重をおいている。

「アコム“みる”コンサート物語」(アコム[株])

「影絵」「生演奏」「語り」「手話」を組み合わせたバリアフリーコンサート。当初は芸術文化支援活動として実施していたが、回を重ねるうちに年齢やハンディキャップの有無に関わらず誰でも楽しめるコンサートとして開催するようになった。全席無料であるが、開催地区の福祉施設などを優先的に招待している。

芸術文化 × **環境**

「アサヒ・エコアート・シリーズ」(アサヒビール[株])

「エコ(環境保全活動)」と「アート(芸術文化活動)」を結びつけながら、アーティストと地元住民が一緒にさまざまな地域資源に着目し、未来につながる創造活動を展開する。2007年の「ART VOYAGE」では、ビールを運ぶ段ボールを使って、川や海など様々な“水”の形を表現するワークショップを実施し、展示した。

昭和シェル石油環境フォト・コンテスト「わたしのまちの と×」(昭和シェル石油[株])

いつまでも残したいすてきな風景(「 」な風景)と、すぐにでも変えたい風景(「×」な風景)の2枚一組の写真とともに撮影者のメッセージを募集。身近な風景から環境問題に対する新たな視点を発掘する。学校における環境教育教材としても利用されている。

芸術文化 × 育児支援

「パパとキッズのアートプログラム～世界でたった1つの絵本～」(コスモ石油[株])

父親の子育て参加を応援する目的で、父子がコミュニケーションとアートを楽しむワークショップを全国9カ所の公立施設(美術館・博物館)で行った。お父さんが子どもだった頃の話をもとに、子どもがそれをイメージした絵を描き、父子での時間をゆっくりと楽しむプログラム。

芸術文化 × 青少年教育 × 平和 × 環境

「EYE SEE 子どもデジタル写真プロジェクト」(ソニー[株])

ルワンダやリベリアの子どもたちが、自分たちの暮らしと疫病や紛争などの社会の課題を写真で表現するプロジェクト(ユニセフ主催、ソニーはデジタルカメラと周辺機器を提供)。「貧困」、「マラリア」、「環境」、「子どもの遊ぶ権利」という4つのテーマで子どもたちが撮った2000枚の写真は、日本全国の巡回展で展示。

芸術文化 × 災害救援・防災 × 青少年教育

「演劇で防災」(TOA[株])

プロの劇団員を学校に派遣し、子どもたちと「防災」をテーマとした創作劇を作るプロジェクト。同社事業である火災・地震の「実際の警報音」を教材として提供し、災害時の行動について子どもたちとディスカッションを行う。子どもたちの発想は台本に仕上げられ、子どもたち自身が友人や父兄の前で演じることで、学びを深める。

複合型メセナの特徴

芸術文化 × 青少年教育	子どもの芸術体験を促す企画が目立ち、特に既存のメセナに教育的要素を付加するタイプの活動が多くみられた。自社所有の文化施設において子ども向けプログラムを開発したり、主催コンサートに子どもを招待するケースなど。
芸術文化 × まちづくり・地域活性化	「創業の地や自社施設が立地する地域の活動を支援する」という趣旨から、地元で活動する団体への支援が多い。以前から取り組んでいる活動の全国展開や、各地で独自に行われる地域に根ざした活動を支援するプログラムなどもある。
芸術文化 × 福祉・医療	コンサート等で募金を集め福祉施設に寄付する、障がい者を招待するなど、メセナ活動に福祉的要素を加えるケースが目立った。その他に、福祉・医療現場の問題解決に、芸術文化の持つ力が生かされたプログラムもみられた。
芸術文化 × 環境	芸術文化活動を通じて環境への問題意識を喚起するプログラムのほか、メセナの実施に際して環境を配慮した取り組みを行うものなど。
芸術文化 × 国際交流、育児支援、平和ほか	社会課題について考える機会の創出や問題解決に、芸術文化という切り口で取り組む事例がみられた。